「補聴器の購入費助成が実現」「附属幼稚園 R7年度末廃止を止めた」

力あわせ要求実現の年に

日本共産党

新しい年となりました。今年もよろしくお願いいたします。

新たな政治の変化

昨年の衆院選では、ウラ金に代表された政治の害悪に審判が下され、国民的な要求に応える新たな変化が生まれています。日本共産党も、国民要求の前進に力を尽くす決意です。

市民の願いに応える

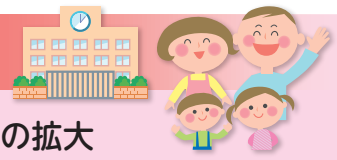
昨年、市政でも市民の世論と運動により、公立幼稚園の廃止に待ったをかけ、高齢者の補聴器購入への公費助成が実現するなど変化が起きています。

日本共産党は、市民の願いと結びつき、さらなる前進に全力をあげます。ご支援、ご協力をお願いいたします。



2025年度に向けた予算要望を市長に提出しました。市民から寄せられた要望やムダ使いの是正など179項目に及びました。

2024年実績 市民とともに実現



- 老朽校舎のリニューアル
- 子育て支援施設等の拡大
- 市役所への民間バス乗り入れ
- 就学援助対象世帯の拡大
- ウイングホールの火葬待ち日数短縮
- 災害情報の電話・FAX配信の対象拡大、他

学校給食、上下水道、国保料…

値上げに怒り「くらしていけない」

改正が注目される「年収の壁」。手取りが増えても、税や公共料金が増えれば効果も半減です。

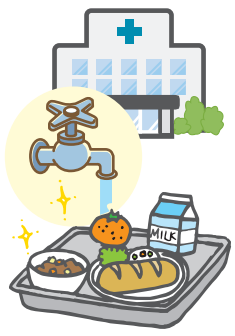
流山市では25年度、国民健康保険料が値上げに。加入者の半数が「所得ナシ・年収100万円未満」となっているもとで、年1万2千円余の負担増は医療機関への受診控えに直結しかねません。

学校給食費は2割も引き上げられ、小学生で年5万6650円、中学生で年6万7650円にも。

全国で広がる給食費無償化に逆行する動きです。

さらに公共下水道料金は、年7200円（4人家族の場合）、駅前自転車駐輪場は最大2千円も値上げ。上水道も3年後に値上げを計画しています。

「くらしを守って」の声をご一緒に広げ、値上げをストップさせましょう。



ジェンダー平等 もっと推進

本市でも昨年4月からパートナーシップ制度がスタート。当事者から「待っていた」と喜ばれています。

さらに日本共産党の追及に、「選択的夫婦別姓制度は早期実現に向けて検討すべき」、「同性婚の法制化は国民的議論を深め、進めるべき」と市も表明しました。

さらに市議会でも、「選択的夫婦別姓制度の導入に向けた国会審議を求める意見書」が可決。ジェンダー平等の推進へ、大きな流れが広がっています。

2024年第3・4回定例会　星取表

会派	日本共産党				流政会							自民党		公明党				流山みらい									
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 えり	高橋 光	植田 和子	小田桐 仙	小沢えみり	川本 大岳	渡辺 仁二	近藤 みほ	石原 修治	坂巻 儀一	笠原 久恵	青野 直	中川 弘	海老原功一	桑畑 伴子	岡 明彦	戸辺 滋	野村 誠	うた 桜子	西尾 段	中村 彰男	藤井 俊行	楠山 栄子	清水 大	鈴木ゆうすけ	矢口 輝美	森田 洋一	阿部 治正
国保料の値上げ条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×
市議会議員の期末手当引き上げ条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護従事者の処遇改善を求める意見書提出を求める陳情（不採択）	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○
現行保険証の廃止を中止するよう求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
核兵器のない社会の実現に向けた取り組みを求める意見書（可決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
選択的夫婦別姓の導入に向けた国会審議を求める意見書（可決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

流山市加4-1688　TEL／FAX 04（7157）6140　メールアドレス　giindan@nagareyama-jcp.jp
ホームページ　http://www.nagareyama-jcp.jp/　流山市議会事務局　平和台1−1−1　TEL 04（7150）6099

ご意見・ご要望をお寄せください

「安心・安全」なまちづくりへ 日本共産党の4議席


小田桐たかし


植田和子


高橋あきら


いぬいえり

『安心・安全』は市民の共通した願いです。この願いの実現に歩みを止めるわけにはいきません。ご一緒に力を合わせましょう。

防災 トイレトレーラー配備を

能登半島地震では、トイレの重要性が再認識されました。特にトイレトレーラーは移動でき、清潔を保ち、安心できる空間が確保できると被災者から好評です。国も財政支援を行い、柏市は2台購入も。

日本共産党を含めた市議会全会派が一致して要望しても、市長が首を縦に振りません。市民と議会の共同をさらに広げ、実現させましょう。


能登町立松波中学校(避難所)に設置されたトイレトレーラー

防犯 防犯機能付き電話機購入に助成を

頻発化・凶悪・高度化する特殊詐欺や強盗。防犯対策の強化は待ったなしです。

防犯機能付き電話は警察庁も推奨し、近隣市では購入費助成の実施など対策強化に取り組んでいます。

いっぽう市は「だまされない心構え(被害者の自己責任)」を繰り返すだけ。防犯対策の強化を願う世論と運動で市政を動かしましょう。



市長肝入り 観光会社 お先真っ赤!?

市長肝いりで設立した「観光株式会社(流山版DMO)」。しかし公費を投入しても、営業利益は3年連続の赤字、借金は6千万円越えにも(23年度末)…「お先真っ赤」です。それでも公費投入を増額するというのですから、税金の使い方が間違っています。


今春開設予定の白みりんミュージアム。これが、市長公約「1円まで活かす市政」の姿でしょうか。

市議会 ねほりはほり

議員手当引き上げ?

議員の期末手当引き上げ議案が可決(日本共産党だけが反対)。市職員の給与等改定に便乗したもので、法令等の裏付けはなく、「忖度」だけ…。市民に理解されるでしょうか。

「核兵器廃絶」に背を向ける動き

被団協(日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞。「平和大使」となった市内の子どもの願いにも合致しています。しかし、市議会には背を向ける動きも…。「核なき世界」実現へ、共同が不可欠です。

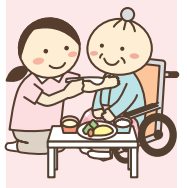
※1面下段の星取表参照

医療介護 介護の安心「壊さないで」

深刻な人手不足が続く医療や介護。報酬「改定」といっても、物価高騰に及ばず、実質はマイナスに。特に訪問介護は深刻さを増し、事業所の閉鎖・倒産が相次いでいます。

ところが市議会では、「医療・介護の改善を国に求める陳情」を不採択に。

日本共産党は、最後まで陳情採択を求めました。また政府にも緊急の財政措置を提言するなど、力を尽くしています。



ごみ処理 事業系ごみの出し方変更 市民の声に応えた制度に

事業系ごみの出し方を強引に変更した結果、「自区内処理(市内で発生したごみは市内で処理)」というごみ処理の原則まで壊し始めています。

事業系の「粗大ごみ」や「燃やさないごみ」は、R5年比でR6年は83%も減少(4~9月)。残りは「市外・県外で処理されているだろう…」とのことです。市が掲げる「ゼロカーボンシティ(CO2等の温室効果ガスの排出量実質ゼロの都市)」の本質が問われています。

身近な要求実現

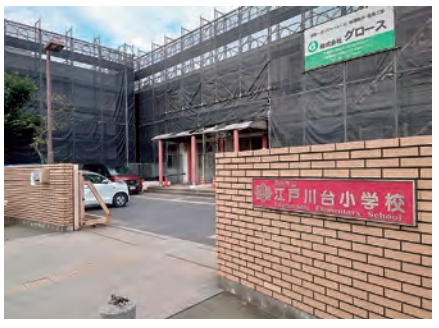
事故なくせ!自治会の取り組みを後押し(おおたかの森北)

小田桐たかし



老朽校舎、リニューアル工事実施中(江戸川台小学校)

植田和子



前ヶ崎城址公園の東屋とベンチの改修

高橋あきら





側溝のフタ 修繕(加6丁目)

いぬいえり

